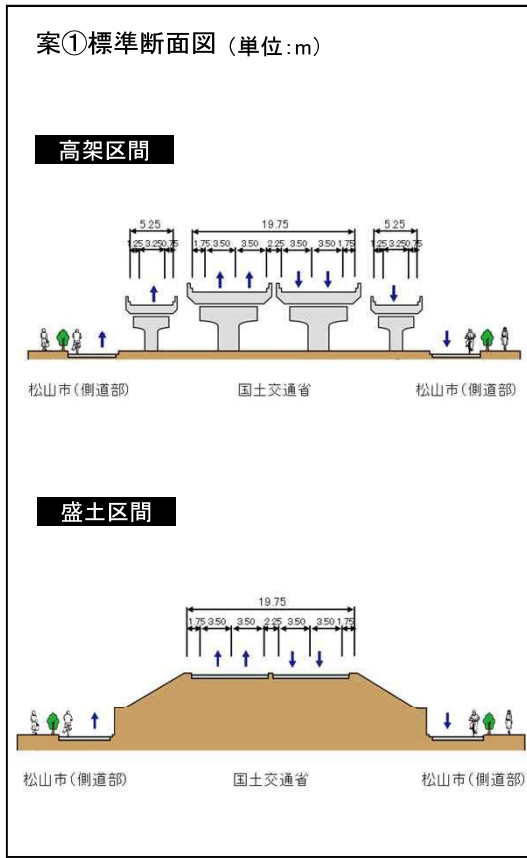
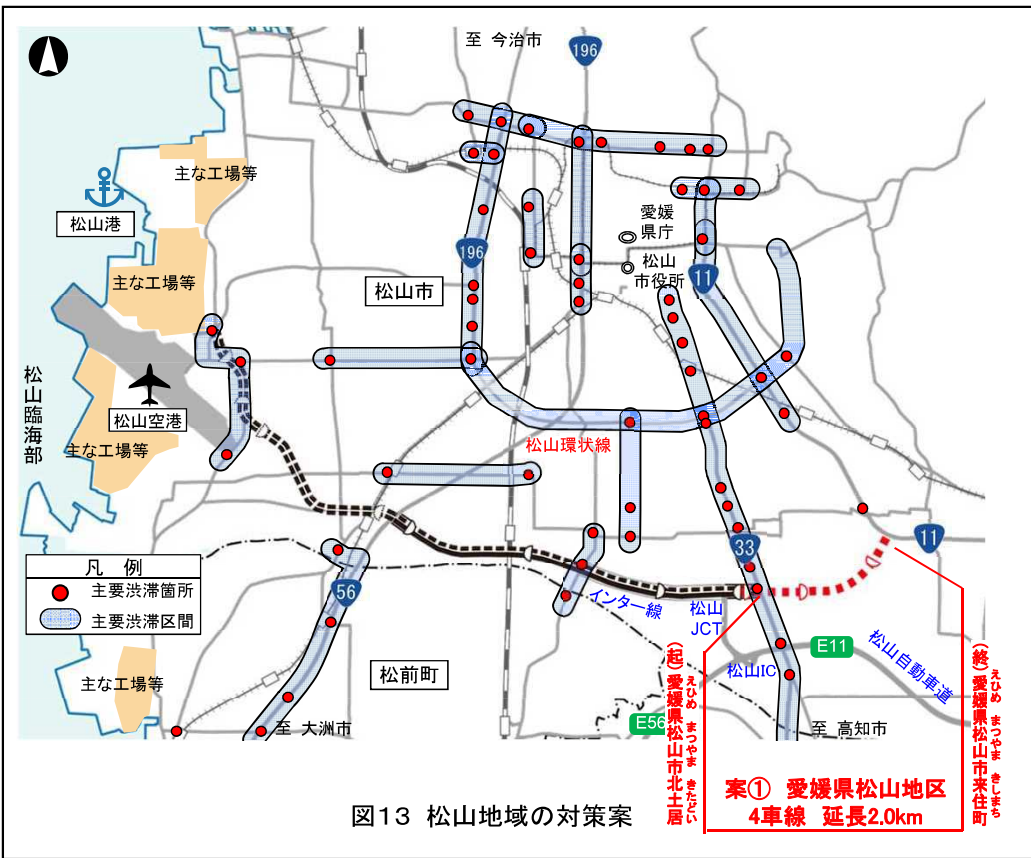


え ひめ まつ やま

4. 対策案の検討

評価項目			【案①】 バイパス案		【案②】 対策をしない案	
項目		指標				
政策目標	①松山臨海部への物流効率化による経済活動支援	臨海部への円滑性確保	・渋滞箇所を回避した臨海部へのアクセスルートが、自動車専用道路で新たに形成されるため、臨海部への円滑性確保が期待できる。	○	・渋滞箇所を経由するルートは変わらず、臨海部への円滑性の確保はできない。	×
	②松山中心部へ向かう交通の分散による速達性向上	松山市中心部への速達性確保	・松山市中心部への新たなルート形成による交通分散により、松山市中心部への速達性確保が期待できる。	○	・交通分散されず、松山市中心部への速達性は確保できない。	×
よる整備に 影響	家屋等への影響		・支障物件 約210件	×	・現況のままであるため、家屋への影響はない	○
	整備に要する費用		約370億円		—	
総合評価			○		—	



対策方針：案①による対策が妥当

【計画概要】

- ・路線名：一般国道33号
- ・区間：愛媛県松山市北土居^{きたどい}～愛媛県松山市来住町^{まつやま きしまち}
- ・概略延長：2.0km
- ・設計速度：80km/h
- ・標準車線数：4車線
- ・概ねのルート：図13 案①のとおり

(参考) 当該事業の経緯等

都市計画決定等の状況

平成 3年3月 都市計画決定
平成29年10月 都市計画変更

- ・自動車専用道路と一般道を繋ぐランプを追加
- ・ランプ部の自動車専用道路を高架構造に変更
- ・国道11号接続部を自動車専用道路から一般道路に変更

地域の要望等

平成29年5月 自民党松山支部連合会が国土交通大臣に
早期事業化を要望

平成29年5月 愛媛県知事が国土交通大臣に早期事業化を要望
平成29年7月 自民党松山支部連合会が国土交通大臣に

早期事業化を要望
平成29年11月 道路整備促進期成同盟会愛媛地方協議会が

国土交通政務官に期事業化を要望
平成29年11月 愛媛県知事が国土交通政務官に早期事業化を要望

平成30年 2月 自民党松山支部連合会が国土交通大臣に
早期事業化を要望

平成30年 2月 愛媛県が国土交通政務官に早期事業化を要望 16